

共同研究プロジェクト紹介 時空間変異研究系 の共同研究プロジェクト

著者	木部 暢子
雑誌名	国語研プロジェクトレビュー
巻	3
号	1
ページ	1-2
発行年	2012-07
URL	http://doi.org/10.15084/00000697

時空間変異研究系の共同研究プロジェクト

Collaborative Research Projects in the Department of Language Change and Variation

木部 暢子 (KIBE Nobuko)

時空間変異研究系では、現在および過去における日本語の地理的変異や社会的変異、歴史変化の様相を解明することを目標に、方言の全国調査、奄美・沖縄方言、八丈方言などの消滅危機方言の調査、現代日本語の動態の解明、日本語変種の形成過程の解明といった共同研究を行なっている。系の共同研究プロジェクトには以下のようなものがある。

基幹型共同研究プロジェクト〈略称〉(プロジェクトリーダー)

消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究〈危機方言〉(木部暢子, 教授)

方言の形成過程解明のための全国方言調査〈方言分布〉(大西拓一郎, 教授)

多角的アプローチによる現代日本語の動態の解明〈現代日本語の動態〉(相澤正夫, 教授)

日本語変種とクレオール形成過程〈海外の日本語変種〉(真田信治, 奈良大学教授/国立国語研究所客員教授)

独創・発展型共同研究プロジェクト〈略称〉(プロジェクトリーダー)

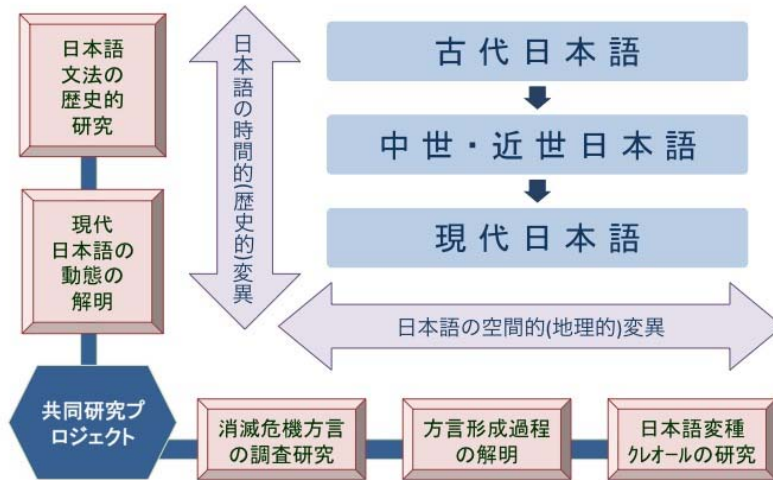
大規模方言データの多角的分析〈大規模方言データ〉(熊谷康雄, 准教授)

接触方言学による「言語変容類型論」の構築〈接触方言〉(朝日祥之, 准教授)

日本語文法の歴史的研究〈文法史〉(青木博史, 九州大学大学院准教授/国立国語研究所客員准教授)

このうち、〈危機方言〉、〈方言分布〉、〈大規模方言データ〉では日本語の地理的変異に関する研究を、〈現代日本語の動態〉、〈海外の日本語変種〉、〈接触方言〉では日本語の社会的変異に関する研究を、〈文法史〉では日本語の歴史的变化に関する研究を行なっている。

時空間変異研究系



この号では、そのうちの「基幹型」について、それぞれのプロジェクトリーダーがその内容を紹介します。

(時空間変異研究系長)